



酒井家庄内入部400年

酒井家 庄内入部 400年記念 シンポジウム 2022.7.11(月)

18:45～21:10 (開場 18:00)

日経ホール(東京都千代田区大手町1-3-7)

入場無料(定員 500名) ※事前申込が必要です

基調講演

「東北戊辰戦争と庄内藩の活躍」

歴史小説家 伊東 潤氏

パネルディスカッション

「酒井家庄内入部400年を紐解く」

コーディネーター 本郷 和人氏(歴史学者、東京大学史料編纂所教授)

パネリスト 伊東 潤氏

徳川 家広氏(徳川宗家後嗣)

酒井 忠久氏(旧庄内藩主酒井家18代当主)

谷口 雅一氏(NHK歴史番組プロデューサー)

主催：酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会観光部会

【事務局】鶴岡市商工観光部観光物産課

お申込み・お問い合わせ先

業務受託者：株式会社出羽庄内地域デザイン

tel.0800-800-0806(フリーアクセス) fax.0235-64-0918

<https://www.cradle-ds.jp>

事前のお申込み方法は

裏面をご覧ください



【入部】とは：領主が初めてその領地にはいること。

東照大権現尊像
十六将之権像



徳川十六将図

左上：酒井忠久

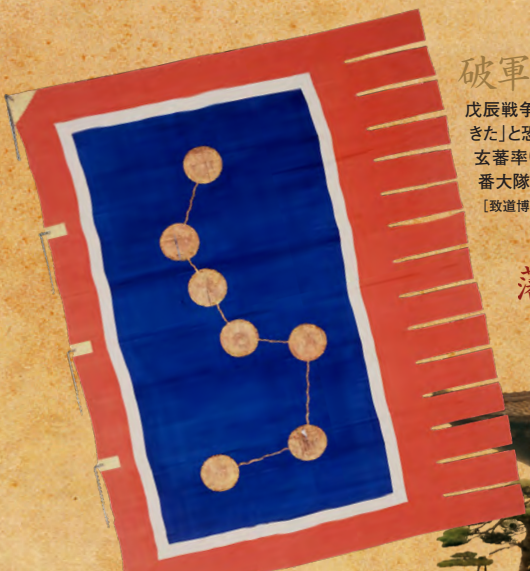
【致道博物館蔵】

破軍星旗

戊辰戦争で「鬼玄蕃がきた」と恐れられた酒井玄蕃率いる庄内藩二番大隊が掲げた軍旗。

【致道博物館寄託】

藩校致道館
講堂





酒井家庄内入部400年

Program

- 18:00 開場
- 18:45 開会
- 18:50 基調講演
- 19:55 パネルディスカッション
- 21:10 終了

徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする酒井家3代忠勝が元和8(1622)年庄内に入部以来、今年で400年を迎えます。江戸後期、藩校致道館の創設など藩政改革を進め、また幕府による三方領知替えの命令を領民が阻止運動を起こし撤回させた庄内藩。幕末江戸市中取締りを担い、戊辰戦争では連戦連勝と強さを誇りました。最後に降伏するも、西郷隆盛の寛大な措置により、その後松ヶ岡開墾、絹織物製造、庄内米ブランド化など酒井家は地元に残り産業振興を進めます。庄内は今も殿が暮らすまちです。徳川家、酒井家など関係者が集い、酒井家庄内入部400年を紐解きます。

Profile



伊東 潤

1960年、横浜市生まれ。早稲田大学卒業。ビジネスマンを経て2010年より専業作家。主に歴史・時代小説を執筆。文学賞多数受賞。代表作に『修羅の都』『茶聖』『巨鯨の海』『国を蹴った男』『江戸を造った男』『囚われの山』などがある。



本郷 和人

1960年、東京都生まれ。東京大学大学院単位取得退学。文学博士。歴史学者。東京大学史料編纂所教授。専門は日本中世史、研究テーマは中世政治史。著書多数。テレビ歴史番組など多数出演。



徳川 家広

1965年、東京都生まれ。慶応大卒業後、米シガン大学で経済学修士号を取得、国連食糧農業機関FAO勤務の後、米コロンビア大学で政治学修士号を取得。2000年末帰国後フリーの翻訳家、政治経済評論家として活動。著書、訳書多数。2021年6月より公益財団法人徳川記念財団理事長。



酒井 忠久

1946年、鶴岡市生まれ。成蹊大学卒業。旧庄内藩主酒井家18代当主。1983年松岡(株)取締役、1992年財団法人致道博物館理事・館長。現在、公益財団法人致道博物館代表理事・館長、松ヶ岡開墾場総長、公益財団法人日本美術刀剣保存協会会長。



谷口 雅一

1969年、大阪府生まれ。早稲田大学卒業。NHKエンタープライズ・プロデューサー。NHK入局以来、歴史番組や教養番組の制作・開発に携わる。現在BSプレミアムで放送中の歴史番組「英雄たちの選択」制作統括。

酒井家庄内入部400年記念シンポジウム

シンポジウムのお申込み

FAX・ホームページ・QRコードからお申込みください。

FAXでのお申込みは下記必要事項をご記入の上、FAX送信してください。

[申込締切：2022年6月30日(木)]

FAX. 0235-64-0918 <https://cradle-plus.com/form-sakai400/>



ふりがな
お名前

住所(市区町村名)
※市区町村名のみ、ご記入ください

組織名・所属
※差し支えなければ、ご記入ください

連絡先電話番号
(またはメールアドレス)

ふりがな
お名前

住所(市区町村名)
※市区町村名のみ、ご記入ください

組織名・所属
※差し支えなければ、ご記入ください

連絡先電話番号
(またはメールアドレス)